

福岡県 筑後地域救急業務MC協議会 オンラインMC体制

～指示要請統一報告項目の策定について～

筑後地域救急業務メディカルコントロール協議会

会長 高須 修（久留米大学病院 高度救命救急センター長）

○南波 慶己（久留米広域消防本部）

福岡県 筑後地域 救急業務MC協議会

北九州市

福岡市

管轄:15市町村(人口約85万人)

消防機関:7(職員1,013人)

3次医療機関:2

2次医療機関:32(告示)

筑後地域

free-japan-map.com



筑後地域救急業務MC協議会

救急救命士教育検討委員会

事後検証委員会

作業部会

策定

検証結果
フィードバック

検証業務委託

検証結果報告

救命士
教育要領

筑後地域
7
消防本部

検証契約締結

検証資料提出

検証料支払

研修内容検討

NPO法人
筑後地域
救急医療研究会

検証医師
(会員)

再教育における
日常的教育の対象

救命士

医師

看護師

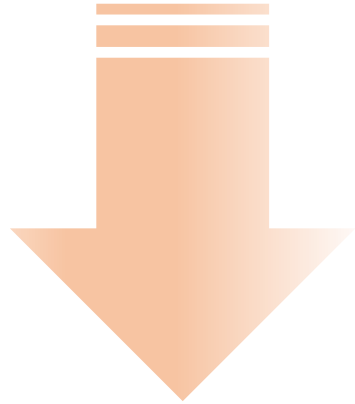
住民 他

地域の救急医療に対する共通認識

研修・症例検討会・市民公開講座等

《指示要請統一報告項目》策定までの経緯

平成28年度 指示要請に関する失錯が発生
『他県の3次医療機関へ特定行為指示要請』



筑後MC 再発防止策 検討

《指示要請統一報告項目》の策定

1. 所属消防本部・氏名	7. 現病歴・既往歴
2. 認定資格(隊)	8. 発症状況
3. 要請内容	9. 傷病者の状況・処置内容
4. 搬送先医療機関と搬送時間	10. 要請理由・特定行為実施場所
5. 救急救命士数・他隊連携	11. 指示医療機関と医師名の確認
6. 傷病者の年齢・性別	12. その他必要に応じた内容

【指示要請統一報告項目】の運用効果
情報の誤認防止
時間短縮

医師・看護師・救命士etc.
救急医療に関する課題の共有

例. ECMO適応症例

統一報告項目
+

発生から医療機関到着までの時間、推定身長、推定体重を報告

迅速な処置

高い救命率

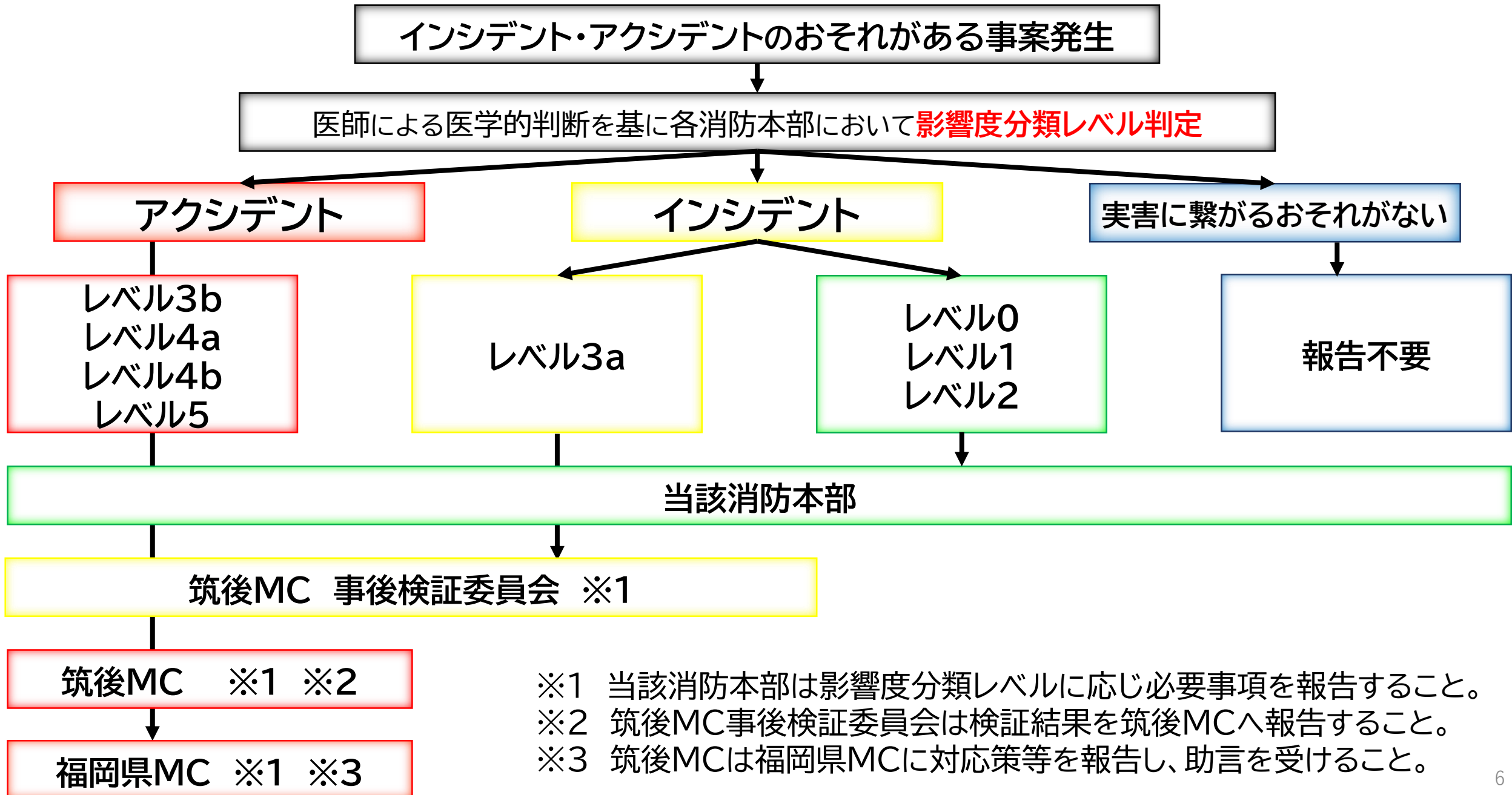
《報告体制の構築》

ヒューマンエラーは
発生しうるもの

インシデント・アクシデント情報を共有

令和4年度 策定
重大事故につながる事象を未然に防ぐ
【インシデント・アクシデント発生時の対応要領】

《対応フローチャート》



《報告内容》

影響度分類のレベルに応じて下記の報告を行う。

当該消防本部〔Lv.0～2〕

- 発生日時・出勤場所
- 傷病者情報・概要(時系列)
- 発生後対応・発生原因
- 再発防止策・その他

報告

事後検証委員会〔Lv.3a〕

- 検証結果
- 発生原因
- 再発防止策
- その他

報告

筑後MC〔Lv.3b～5〕

- 当該消防本部の対応状況
- 当該救急救命士の処遇
- 法令違反行為と傷病者の予後との因果関係についての主治医の見解
- 有害事象調査委員会の設置の有無及びその結果
- 当該救急隊の隊編成(資格等)
- 当該救急救命士の情報
- その他

報告

福岡県MC

助言

※食道挿管事例については別に定める「食道挿管発生時のフローチャート」に沿って報告すること。
※当該消防本部は、当事者及び関係者のメンタルケアに努めること。

《久留米広域消防本部の取組み》

《救急活動に関連するインシデントレポート提出要領》

【目的】

救急活動に関連するインシデントや接遇トラブル等の事例情報共有体制を確立し、重大事故や接遇トラブルを未然に防ぐことを目的とする。

【対象事例】

- ・影響度分類レベル0～2相当事例（実害につながるおそれがない事案を含む）
- ・接遇に関する事例等

※労働安全衛生分野におけるヒヤリハット報告該当事例は対象外とする。

【レポート提出方法】

インシデント等が発生した場合は、出動隊が[救急活動インシデントレポート]を作成し、本部担当課へ直接メールにて提出する。

提出を受けた本部担当課は、内容確認後、全救急隊員へ周知する。

※周知の際は、出動隊や所属が特定できる情報は削除する。

《筑後MCにおける今後の課題》

オンラインによる
事後検証会や症例検討会が
増加



医師・看護師・救急隊員etc.
直接顔を合わせる機会が
減少

